

教会短信

牧師 間瀬 善彦

日本人には他人の罪の贖^{あがな}い(身代わり)のために、十字架につけられて死んだイエスの存在はわかりにくいようです。イエスの十字架とはわたしたちにとって何でしょうか。

イエスは他に2人の犯罪人と共に十字架につけられました。ところが、この2人はイエスに対する態度が違っていました。一人は、「お前はメシア(救い主)ではないか。自分自身と我々を救ってみろ」と言ってイエスをののしりました。イエスは神の子でありますから、どんな不思議な事もすることができます。もし、十字架から降りて死を免れようとすれば容易にできたのです。しかし、それをされませんでした。神の御心を知って、すべての人びとの罪の身代わりに十字架につけられることを望まれました。人びとから辱めを受け、鞭打たれて刑場に引かれていきました。

もう1人の犯罪人は、先の犯罪人に対してこう言いました。「お前は神をも恐れないのか。同じ刑罰を受けているのに。我々は、自分のやったことの報いを受けているのだから、当然だ。しかし、この方(イエス)は何も悪いことをしていない」。彼は自分の犯した罪に対して悔い改めの心を持っていました。その上、イエスには罪がないことを知っていたのです。罪のない方が他人を救うために、他人の罪を背負って十字架につく、これがイエスの十字架の意味です。十字架には、人類を救うために、神は自分の御子を犠牲にしてまで愛された神の愛が現れています。

イエスは、この犯罪人に言われました。「はっきり言うておくが、あなたは今日わたしと一緒に楽園(神の国)にいる」と。神の前に、罪を悔い改める心を持つ者を、神は救ってくださいます。

経堂バプテスト教会

〒156-0053 世田谷区桜1-64-30

TEL 03-3427-2352

当教会は、エホバの証人、モルモン教、統一協会とは一切関係ありません。

本当の充実した人生とは

月に一回、5～6人で読書会をしている。本は独りで読むと、独りよがりの解釈になってしまうので読書会によってそれぞれの意見を出し合い、人の意見も聞くことができるので、とても有りがたいです。

ポール・トゥルニエの『人生の四季』の本の中にこのように記されています。「充実した人生とは、私たちが日々生じて来るさまざまな問題を解決した後にはじめて開始するのではなくて、勇敢に課題と取り組むという姿勢の中に存在しています」。「人生の充実は、時には困難を乗り越えたときに感じられる喜びの中に見出されることもあります。それよりも、たとえ困難は解決できなくても、その困難を謙虚に受け止めて根気よくそれを耐え忍ぶことである」。

私はこの本を読むまでは、充実した人生とは、また充実した時とは、困難や問題が楽な方法でとり除かれ、困難や問題が、比較的少ない時と思っていました。考えてみますと、人の人生とは、勝利だけで成り立っているのではありません。私もこれからは本当の充実した人生を送るために、困難なことがやって来ても、謙虚な気持ちで受け止め、そして乗り越えていきたいと思うようになりました。この本に出会い、真の充実した人生の意味がわかりました。

最後に、ポール・トゥルニエを紹介いたします。1897年—1986年、キリスト者でスイスの医師、「人格医学」の提唱者として知られ、ヨーロッパ、イスラム圏内、日本各地で感動的な講演をした人である。

K、M

集会案内

主日礼拝 日曜日 AM: 10:30~11:30

教会学校 日曜日 AM: 11:45~12:30

青年科・成人科

聖書を学ぶ会

火曜日 PM: 13:00~14:00

聖書研究・祈祷会

水曜日 PM: 19:30~20:30

